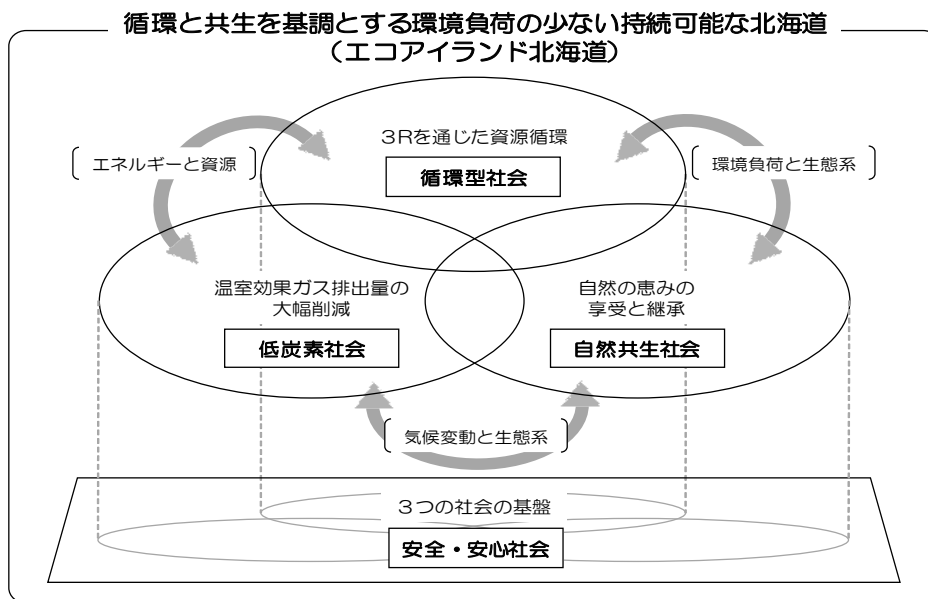


令和3年度（2021年度）北海道環境基本計画〔第2次計画〕 改定版に基づく施策の進捗状況の点検・評価について

1 北海道環境基本計画〔第2次計画〕改定版（平成28年3月策定）

環境基本条例第10条の規定に基づき、環境の保全及び創造に関する長期的な目標や施策の基本的事項などを明らかにするもの。

（1）施策体系のイメージ



（2）施策の基本的事項・・・P2参照

- ・ 5つの分野と32の施策
- ・ 3つの重点的に取り組む事項

（3）指標群・・・P3参照

12の指標、10の個別指標、45の補足データ

（4）計画の進行管理

計画の着実な推進を図るため、計画に基づく施策の進捗状況を定期的に点検・評価を行い、その結果は概要版を作成し公表する。

第3章 計画の推進（要点のみ抜粋）

3 計画の進行管理

- 施策の進捗状況を定期的に点検、評価する。
- 点検・評価

- ・ 点検・評価と指標群について
各施策の実施状況と「指標・個別指標・補足データ」などをもとに、各分野の目標の達成状況を評価する。
- ・ 総合的な評価について
他の分野での相乗的な効果が期待できるものがある一方、他の分野で別の環境影響を発生させる場合もあるため、他の分野の視点なども勘案した、総合的な評価を行う。

- 点検、評価の実施に当たっては、環境審議会の意見を聴きながら進める。

○基本計画に掲げる「分野」及び「道の施策体系」（5分野32施策）

分 野		施策 No.
施 策 体 系		
I 地域から取り組む地球環境の保全		
①地球温暖化対策の推進	ア 低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換	1
	イ 地域の特性を活かした環境にやさしいエネルギーの導入	2
	ウ 森林等における吸収源対策	3
	エ 気候変動への適応策の検討	4
②その他の地球環境保全対策の推進		5
II 北海道らしい循環型社会の形成		
①3Rの推進		6
②廃棄物の適正処理の推進		7
③バイオマスの利活用の推進		8
④リサイクル関連産業を中心とした循環型社会ビジネスの振興		9
III 自然との共生を基本とした環境の保全と創造		
①自然環境等の保全及び快適な環境の創造	ア すぐれた自然環境の保全	10
	イ 公益的な機能の高い森林の保全	11
	ウ 快適な環境の保全と創造	12
	エ 北海道らしい景観の形成	13
②知床世界自然遺産の厳格な保全と適正な利用		14
③自然とのふれあいの推進	ア 自然とのふれあいの場と機会の確保	15
	イ 自然の適正な利用	16
	ウ 飼養動物の愛護と管理	17
④野生生物の保護管理	ア 希少野生動植物種の保護	18
	イ 外来種の防除の推進	19
	ウ 野生鳥獣の適正な保護管理	20
IV 安全・安心な地域環境の確保		
①大気、水などの生活環境の保全	ア 大気環境の保全	21
	イ 水環境の保全	22
	ウ 騒音・振動・悪臭防止・土壌汚染・地盤沈下対策	23
②化学物質等による環境汚染の未然防止		24
③その他の生活環境保全対策		25
V 各分野に共通する施策の展開		
①環境に配慮する人づくりの推進	ア 環境教育の推進・環境に優しいライフスタイルの定着	26
	イ 民間団体等の自発的な環境保全活動の促進・協働取組の推進	27
②環境と経済の好循環の創出	ア 環境に配慮した事業活動の推進	28
	イ 環境と調和した産業の展開	29
	ウ 環境ビジネスの振興	30
③環境と調和したまちづくり		31
④基盤的な施策（調査研究・情報提供・国際的な取組）		32

○基本計画に掲げる「重点的に取り組む事項」（3項目）

ア	野生生物と共生する社会づくり
イ	地域の資源を活用した持続可能な地域社会の形成
ウ	豊かな自然の次代への継承

○ 指標群について

基本計画では、一律の「指標」ではなく、階層構造を持った「指標群」という考え方を導入し、目標の達成状況及び施策の進捗状況の把握を行っていくこととしています。

■ 指標群の考え方

	区 分	役 割	目 標 値
指 標 群	指 標	目標の達成状況を示す	有
	個 別 指 標	目標の一部の達成状況を示す	有
	補 足 デ ー タ	個別施策の進捗状況を把握する また、目標の進捗状況の評価を補足し、 今後の施策の方向性などの分析に使用する	無

■ 指標群一覧

【施策分野ごとの指標（㊦12項目）、個別指標（㊦10項目）、補足データ（㊦45項目）】

I 地球環境保全に関する指標群	
㊦温室効果ガス排出量	㊦産業部門エネルギー消費原単位
㊦新エネルギー導入量 発電分野（発電電力量）	㊦家庭部門エネルギー消費原単位
㊦新エネルギー導入量 熱利用分野	㊦業務部門エネルギー消費原単位
㊦森林の蓄積と地球温暖化防止機能	㊦運輸部門エネルギー消費原単位
㊦一人当たりの二酸化炭素排出量	㊦フロン排出抑制法に基づくフロン類の回収量 ・破壊量
㊦部門別二酸化炭素排出量	
㊦環境効率性	
II 循環型社会形成に関する指標群	
㊦循環利用率	㊦産業廃棄物処理業者の優良認定業者数
㊦最終処分量	㊦廃棄物系バイオマスの種別ごとの発生量及び 利活用量
㊦廃棄物系バイオマス利活利用率	
㊦未利用バイオマス利活利用率	㊦未利用バイオマスの種別ごとの発生量及び利 活用量
㊦一般廃棄物の排出量（一人1日当たり）	
㊦産業廃棄物の排出量	㊦バイオガスプラント施設数
㊦一般廃棄物のリサイクル率	㊦バイオマス活用推進計画等策定市町村数
㊦産業廃棄物の再生利用率	㊦認定リサイクル製品数
㊦資源生産性	㊦グリーン購入の全庁的实施市町村数
III 自然環境保全に関する指標群	
㊦犬・ねこの安楽殺処分頭数	㊦景観行政団体移行市町村数
㊦エゾシカ個体数指数（東部）	㊦自然公園利用者数
㊦エゾシカ個体数指数（西部）	㊦自然保護監視員等の人数と監視延べ日数
㊦すぐれた自然地域の面積	㊦タンチョウの生息数
㊦森林所有者等が生物多様性保全のために特に 森林の整備・保全を行う面積	㊦野生動植物の目録を作成した分類群の数
	㊦「アライグマ防除実施計画」の策定市町村数
㊦一人当たり広域公園都市面積	㊦エゾシカ捕獲数及び農林業被害額
㊦道立公園利用者数	㊦エゾシカ推定生息数
㊦水辺に親しめる河川空間整備数	㊦狩猟免許所持者数
㊦道民との協働により育てる樹木の本数	㊦エゾシカ個体数指数（南部）
IV 地域環境の確保に関する指標群	
㊦大気環境基準達成率	㊦汚水処理人口普及率
㊦水質環境基準達成率	㊦健全な水循環確保のための流域環境保全計画 策定数
㊦騒音に関する環境基準達成率（一般地域、自動 車、航空機）	
㊦化学物質（ダイオキシン類）環境基準達成率	㊦P R T R法に基づく届出排出量及び移動量
㊦地下水環境基準の達成率	㊦公害苦情件数
V 各分野に共通する施策に関する指標群	
㊦「環境配慮活動実践者」の割合	㊦北のクリーン農産物（YES!clean）の作付面積
㊦道の事務・事業における温室効果ガスの排出量	㊦道内のエコファーマー認定数
㊦環境管理システムの認証取得事業所数	㊦有機農業取組面積
㊦YES!clean表示制度作付面積	㊦北方型住宅としてデータ登録された戸数
㊦グリーン・ビズ認定制度による登録・認定事業所数	㊦長期優良住宅の認定戸数
㊦道におけるグリーン購入調達率	㊦環境分野における海外からの研修受入人数

2 点検・評価の実施方針(案)

(1) 実施項目

- ① 基本計画（第2章）に掲げる「分野」及び「道の施策体系」記載の項目（5分野32施策）
- ② 基本計画（第2章）に掲げる「重点的に取り組む事項」（3項目）

(2) 点検・評価の流れと結果の公表

まず、(1)①の施策分野ごとに定める指標群（指標、個別指標、補足データ）の状況、各施策実施状況などから、目標の達成状況、施策進捗状況の確認、総合的な評価などを行い、(1)②の重点事項についても点検・評価を行う。

点検・評価の結果については、環境白書等により公表する。

(3) 点検・評価結果の活用等

その内容に基づき必要に応じて事業を見直すなど、次年度以降の環境施策への反映を図る。

【具体的な流れ】

① 「事業」ごとの点検・評価

基本計画に掲げた施策を網羅的に把握するため、「事業別点検・評価シート」別添Aシートにより、関連事業について関係部局に照会し、取りまとめる。

② 施策分野ごとに定める指標群による状況把握及び評価

施策分野ごとに定める指標群の内、指標・個別指標の評価や補足データを把握するため、「指標等の状況把握・評価シート」別添Bシートにより、関係部局に照会し、取りまとめる。また、「評価」に記載された文言についても可能な限り反映させることとする。

③ 「施策」ごとの点検・評価

上記①及び②の結果を、施策ごと（32施策）に取りまとめ、「施策別点検・評価シート」別添Cシートにより点検・評価を行う。

なお、各施策については、「低炭素社会」、「循環型社会」及び「自然共生社会」の3つの社会の構築の観点からの意見（それぞれの視点から見た施策の効果（コベネフィット：相乗便益）と課題（トレードオフ：二律背反））などを記載する。

記載担当	低炭素社会の観点	気候変動対策課
	循環型社会の観点	循環型社会推進課
	自然共生社会の観点	自然環境課

最終的に、各施策の点検・評価の担当課が3つの社会構築の観点からの意見を踏まえた今後の方向などについて記載する。

④ 「分野」ごとの点検・評価

上記③の結果を、5分野ごとに取りまとめ、「分野別点検・評価シート」別添Dシートにより点検・評価を行う。

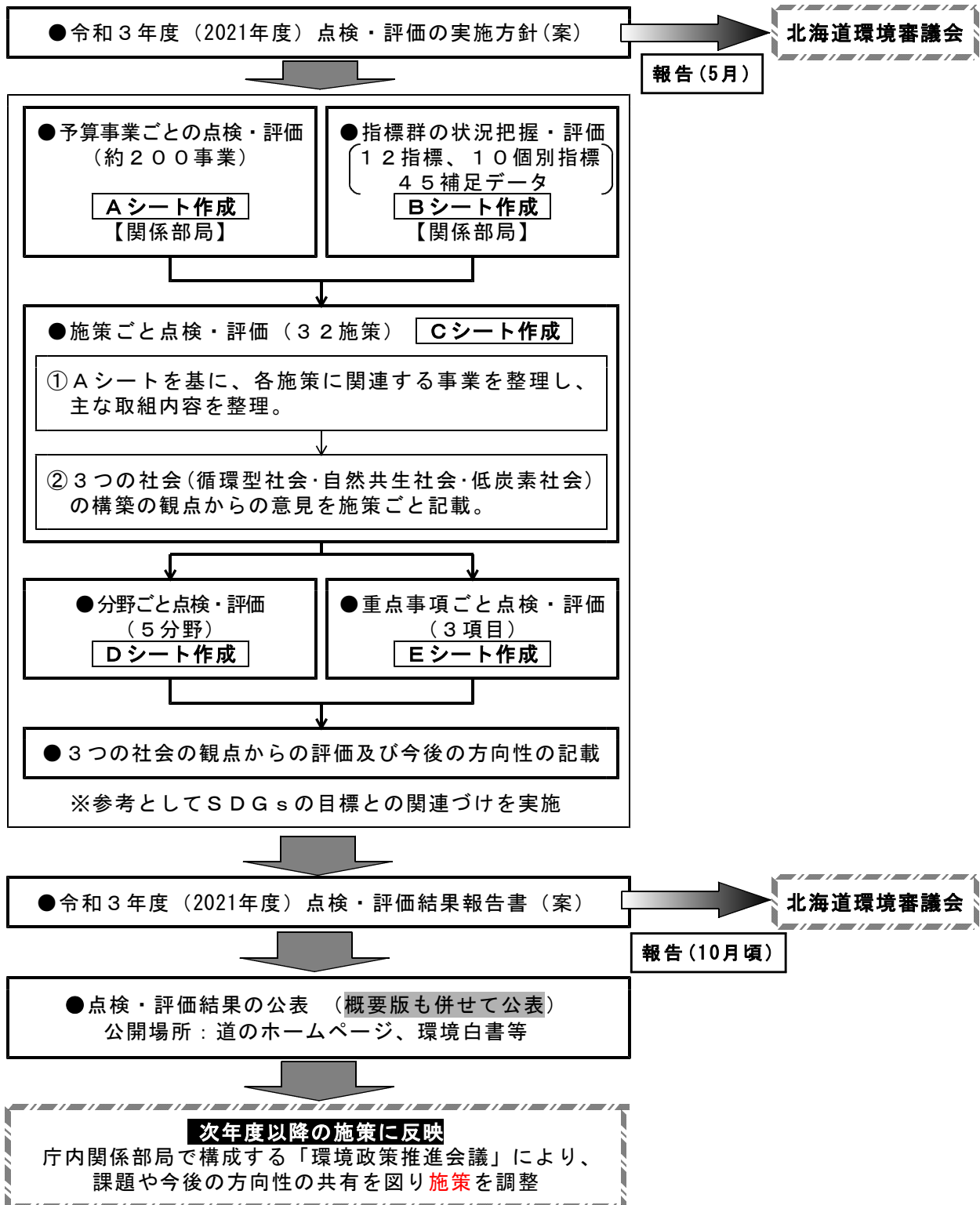
⑤ 「重点的に取り組む事項」ごとの点検・評価

上記③の結果を、重点的に取り組む3事項ごとに取りまとめ、「重点事項別点検・評価シート」別添Eシートにより点検・評価を行う。

⑥ 「総合的評価」

上記③から⑥までの点検・評価結果を総括し、3つの社会構築の観点からの評価も考慮した総合的な評価を記載する。

■点検・評価の流れ



※SDGsの関連付けの流れ

- Aシート 各事業の目的等から関連するターゲットを抽出
- Cシート Aシートを基に、各施策と関連するゴールを抽出
- Dシート Cシートを基に、分野ごとに関連するゴールを抽出
- Eシート Cシートを基に、重点項目ごとに関連するゴールを抽出

報告書（案）

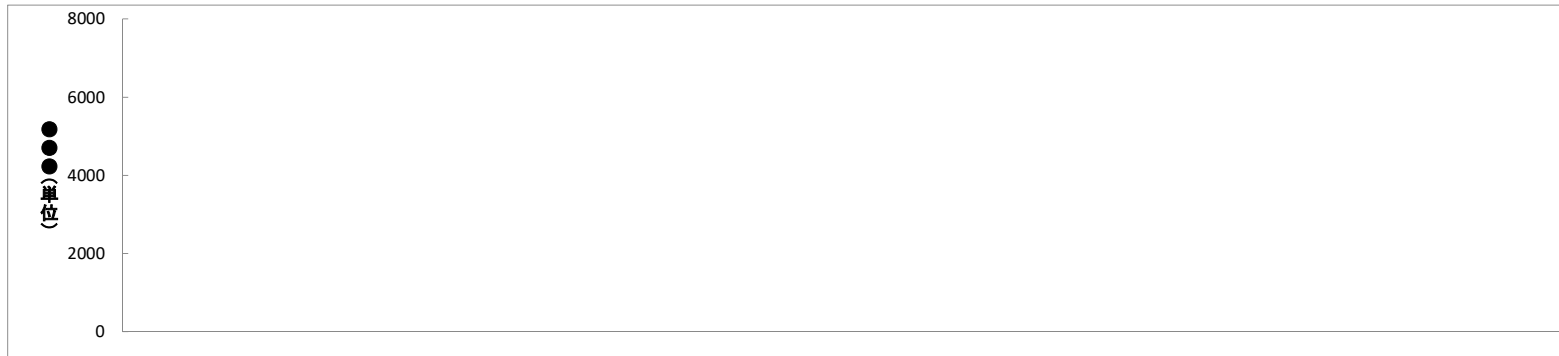
■ Aシート (事業別点検・評価シート 兼 紐付け事業確認シート)

H25 整理番号	今回 整理番号	事業名 (細事業名)	所管部	課名 (グループ名)	(1) 地球環境	(2) 循環	(3) 自然共生	(4) 安全安心	(5) 共通・基盤	R1年度 予算額 [千円]	R2年度 予算額 [千円]	R3年度 予算額 (当初) [千円]	点検・評価					事業 年度	関連する SDGs ターゲット				
					ア 温暖化 対策 推進 等	イ 資源 の有 効的 利用 等	エ 気候 変動 適 応 等	ウ 自然 環境 の 保全 等	エ 災害 に 対 する 備 災 等				オ 防災 減 災 等	カ 生活 安全 等	キ 防災 減 災 等	ク 防災 減 災 等	コ 防災 減 災 等			事業概要	R2の主な取組・進捗状況	課題	今後の方向


指標等の状況把握・評価シート(Bシート)

① 施策分野																																																					
② 指標区分、指標等の名称 (指標等No.)																																																					
③ 環境基本計画策定時の現状 (基準年)																																																					
④ 実績データ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>平成</th><th>年度</th><th>令和</th><th>年度</th><th>令和</th><th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td> </tr> </tbody> </table>	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	令和	年度	令和	年度																										
平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	令和	年度	令和	年度																												
⑤ 目標数値等																																																					
⑥ 評価																																																					
⑦ 所管部局																																																					
⑧ 備考																																																					

■ 図表データ



施策別点検・評価シート（Cシート）	点検・評価の担当課	評価年月 年 月
--------------------------	-----------	-------------

施策の位置づけ (施策分野名)	 関連するSDGsのアイコンを記載
施策No.・施策名	

【施策の評価（主な関連事業）】

事業名	R1年度予算 (千円)	R2年度予算 (千円)	R3年度予算 (千円)	R2年度の主な取組・進捗状況	課題	関連施策No.	関連する SDGsのターゲット

【その他関連事業】※他の施策で評価

今後の方向	※下記意見を踏まえて点検・評価の担当課・室が記載
-------	--------------------------

【3つの社会に係る評価】 ※公表時は削除

低炭素社会構築の観点からの意見 (気候変動対策課が記載)	
循環型社会構築の観点からの意見 (循環型社会推進課が記載)	
自然共生社会構築の観点からの意見 (自然環境課が記載)	

分野別点検・評価シート（Dシート）

施策分野		評価年月	
------	--	------	--

■ 施策分野の目標とその達成状況

目 標	
達成状況	

■ 関連指標群の状況

指標区分 指標等No. 指標等の名称	内 容	
	計画策定時の現状（基準年）	
	実 績	
	目標数値等	

■ 令和2年度の主な取組・進捗状況

※関連するSDGsのアイコンを記載

■ 課題と今後の方向

重点事項別点検・評価シート（Eシート）

重点項目		評価年月	
------	--	------	--

■施策分野の目標とその達成状況

目 標	
達成状況	

■関連指標の状況と達成状況

指標区分 指標等No. 指標等の名称	内 容	
	計画策定時の現状（基準年）	
	実 績	
	目標数値等	

■令和2年度の主な取組・進捗状況

※関連するSDGsのアイコンを記載

■課題と今後の方向